

【表紙・裏表紙解説】 あいち国文第16号

表紙・裏表紙写真ともに『除元集』（愛知県立大学長久手キャンパス図書館蔵）。

全一卷。三五丁。刊本。四ツ目綴。寸法は二二・四×一六・〇センチメートル。題簽欠、左肩に剥落跡あり。多色刷り、絵入り。後表紙に書き入れ「金鯢城西蟹江郷・山田氏」とあり。内題、題簽がともに無いため、題名については『愛知女子短期大学古俳書目録』および日本古典籍総合目録の統一書名によった。序・跋なし。冒頭に「安永九年庚子／元日」の詞書があることから、安永九年（一七八〇）とわかる。

市橋鐸氏による『愛知女子短期大学古俳書目録』には、「浪花の五株・芙蓉・虎宥の晝入歳旦帳で、歌舞伎役者の句が多く見られる。」と紹介されており、一先（初代中村歌右衛門）・奥山（初代浅尾為十郎）・慶子（初代中村富十郎）・里環（初代嵐吉三郎）・眠獅（初代嵐雛助）など、さまざまな歌舞伎役者たちの俳名が見える。

掲載箇所はそれぞれ多色刷りの絵とともに、表紙には

「春風や／富士を／産出す／諏訪の瀧 嵐 雷子」、裏表紙には「万歳の／烏帽子／めてたし／ほうかふり 尾上

芙蓉」という俳句が掲載されている。雷子は二代嵐

三五郎（一七三二—一八〇三）の俳名、芙蓉は複数の役者が俳名として使用しているが、一七八〇年の時点で使用しているのは初代尾上新七（一七四五—一八〇九）か。

なお、同図書館には同名・同著者の書籍が所蔵されている（資料請求番号：027/4621）が、そちらは寛政六年（一七九四）のものであり、収録内容も本資料とは違っている。

参考文献『愛知女子短期大学古俳書目録』（市橋鐸）、『俳文学大辞典』（角川書店）、『日本人名大辞典』（講談社）、愛知県立大学図書館貴重書コレクション（<http://opac.laichi-pu.ac.jp/kicho/kohaisyo/index.html>）

（文責：熊澤美戸）